# 江戸時代

名前

問1　日本の歴史における都市や交通の発展について述べた以下の4つの事象を、時期の古いものから順に正しく並べた組み合わせを選びなさい。
・江戸を中心とした五街道が整備され、宿場が発達した。　・織田信長が関所を廃止するなど、交通と商業の活性化を図った。
・平城京において、道幅約70メートルの南北の道や碁盤の目状の区画が整備された。
・源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武家政権による支配が始まった。　（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 「鎌倉幕府の成立」→「平城京の整備」→「五街道の整備」→「織田信長の政策」
2. 「平城京の整備」→「織田信長の政策」→「鎌倉幕府の成立」→「五街道の整備」
3. 「平城京の整備」→「鎌倉幕府の成立」→「織田信長の政策」→「五街道の整備」
4. 「五街道の整備」→「織田信長の政策」→「鎌倉幕府の成立」→「平城京の整備」

問2　江戸時代、幕府や諸藩は財政を安定させるために年貢の増収を目的とした政策を積極的に行いました。16世紀末から18世紀にかけて日本の耕地面積が約2倍にまで拡大した背景にある、この土地開発政策を何と呼びますか。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 新田開発
2. 墾田永年私財法
3. 地租改正
4. 太閤検地

問3　江戸時代中期の老中、田沼意次が行った経済政策の説明として、最も適切なものを選択してください。（2021年 三重県公立入試 類似）

1. 貨幣の質を大幅に落として流通量を増やすことで、物価を抑制しつつ幕府の改鋳利益を増やす政策を推進した。
2. 極端な倹約令を出して武士や民衆の生活を厳しく制限し、支出を抑えることで幕府の財政を立て直そうとした。
3. 商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や冥加金といった税を徴収した。
4. 「公事方御定書」を制定して裁判の基準を明確に定め、役人の不正を厳しく取り締まることで政治の腐敗を防ごうとした。

問4　17世紀初頭のオランダにおいて、アジア諸国との貿易を組織的かつ大規模に行うために設立された組織の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を最大の目的とし、アジア各地に宣教師を派遣するための拠点となった。
2. 世界初の株式会社の仕組みを取り入れ、多くの出資者から資金を集めて運営された。
3. 国王がすべての資金を出し、貿易による利益をすべて王室の私財とする直轄組織であった。
4. 産業革命による工業製品の輸出を促進するため、アフリカ大陸の植民地化を主導した。

問5　江戸時代の町人文化（化政文化）が栄えた時期に活躍した浮世絵師について述べた文です。富士山を各地から様々な角度で描いた「富嶽三十六景」などの風景画を確立し、後のヨーロッパの芸術家にも影響を与えた人物として正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 狩野永徳
2. 葛飾北斎
3. 雪舟
4. 菱川師宣

問6　江戸時代初期、幕府から海外渡航の許可状を得た朱印船による貿易が行われていました。当時の帆船は自然の力を動力としていたため、夏と冬で吹く方向が入れ替わる風を利用して日本と東南アジアの間を往復していましたが、この風の名称を漢字三文字で答えなさい。（2020年 京都府公立入試 類似）

1. 貿易風
2. 偏東風
3. 偏西風
4. 季節風

問7　江戸時代中期の政治において、田沼意次が従来の農業重視の政策から転換し、幕府の財政を立て直すために積極的に奨励した仕組みとして最も適切なものを選択してください。（2022年 静岡県公立入試 類似）

1. 旗本や御家人の借金を帳消しにすることで、武士の生活を救済する仕組み
2. 生類憐みの令を発布し、生命の尊さを強調することで社会の秩序を守る仕組み
3. 株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み
4. 農村から都市へ出た人々を強制的に村に帰し、農業専念を命じる仕組み

問8　江戸時代中期の元禄文化期において、京都や大阪などの上方を中心に、町人の生活や感情をいきいきと描いた作品が多く生み出されました。この時期に人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を執筆し、義理や人情に揺れ動く町人の姿を表現した人物は誰ですか。（2015年 岡山県公立入試 類似）

1. 近松門左衛門
2. 世阿弥
3. 葛飾北斎
4. 雪舟

問9　江戸時代後半から幕末にかけて見られた「工場制手工業」が、それ以前の「問屋制家内工業」と比較して、生産効率を向上させた主な要因として正しいものはどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 職人が一人で全工程を担当し、熟練した技術を製品に反映させたこと。
2. 商人が農民に原料と道具を貸し出し、農閑期を利用して生産させたこと。
3. 外国から輸入された最新の大型機械を各家庭に配備したこと。
4. 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。

問10　江戸幕府は大名に対し、許可なく城を修理することや、幕府の許可を得ずに大名同士で婚姻を結ぶことを厳しく禁じました。幕府がこのような制限を設けた背景にある、最も適切な理由はどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

1. 朝廷と大名が直接結びつくことを推奨し、天皇を中心とした政治体制を作るため
2. 大名の経済力を奪うために、豪華な城の建築や結婚式を奨励して浪費させるため
3. キリスト教の布教を防ぐために、海外の文化が城や婚姻の儀式に混ざるのを避けるため
4. 大名の軍事的な強化や、有力大名同士の無断の同盟を妨げ、反乱を未然に防ぐため

問11　江戸時代中期に、幕府が貨幣の含有率を下げて大量の貨幣発行を行った結果、当時の社会や経済にどのような影響を及ぼしたと考えられますか。その因果関係として適切なものを選びなさい。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。
2. 貨幣の発行量が増えたことで、武士が受け取る米の価値が相対的に高まり、武士の財政が潤った。
3. 貨幣の信用が高まったことで、農村部での物価が下落し、自給自足の生活が再び強まった。
4. 金や銀の純度を下げたことで海外への支払いが容易になり、長崎での貿易額が飛躍的に増大した。

問12　江戸幕府は1613年のキリスト教禁止令から1641年の「鎖国」体制の完成に至る過程で、多くのヨーロッパ諸国との交流を断ちましたが、特定の国に対しては長崎の出島での通商を継続して許可しました。この国は幕府に対し、貿易の対価として海外情勢を報告する義務を負っていましたが、その国名を次の中から選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. オランダ
2. ポルトガル
3. スペイン
4. イギリス

問13　田沼意次が推進した重商主義的な政策のうち、長崎貿易において金や銀の流出を防ぎ、幕府の財政を潤すために取られた手段として正しいものはどれですか。（2016年 滋賀県公立入試 類似）

1. 海外からの生糸の輸入を大幅に増やし、国内の絹織物産業を活性化させた。
2. 銅や「俵物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、外貨を獲得しようとした。
3. 鎖国をさらに強化してオランダ船の来航を制限し、貿易額を最小限に抑えた。
4. 全国の農民に商品作物の栽培を禁止し、米の輸出のみを行うよう命じた。

# 答え合わせ・解説

| | | |
|---|---|---|
| 問1 | 答え 3<br>「平城京の整備」→「鎌倉幕府の成立」→「織田信長の政策」→「五街道の整備」 | 奈良時代の710年に唐の都を模して平城京が整備されました。その後、12世紀末に源頼朝によって鎌倉幕府が成立し、武士による政治が本格化します。16世紀後半の戦国時代には、織田信長が楽市・楽座や関所の撤廃を行い、安土城を中心とした流通改革を進めました。そして17世紀の江戸時代に入ると、幕府によって日本橋を起点とする五街道が整備され、全国的な交通網が完成しました。 |
| 問2 | 答え 1<br>新田開発 | 江戸幕府や各藩は、年貢収入を増やすために大規模な治水工事や干拓を行い、それまで未開墾だった原野や海浜を耕地に変える「新田開発」を推進しました。この政策により、100年余りの間に耕地面積が飛躍的に増加し、農業生産力が向上しました。地租改正は明治時代、太閤検地は安土桃山時代の出来事であり、時代背景が異なります。 |
| 問3 | 答え 3<br>商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や冥加金といった税を徴収した。 | 田沼意次は、それまでの米の増産に頼る幕府の財政再建策に行き詰まりを感じ、発展していた貨幣経済に着目しました。商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、市場の独占を認める対価として、運上金や冥加金といった商工業の利益に基づいた税を徴収することで、幕府の新たな収入源を確保しようとしたのが特徴です。 |
| 問4 | 答え 2<br>世界初の株式会社の仕組みを取り入れ、多くの出資者から資金を集めて運営された。 | 1602年に設立されたオランダ東インド会社は、長期間にわたるアジア航海のリスクを分散し、巨額の資金を安定して調達するために、不特定多数の出資者から資本を募る「株式会社」の先駆けとなる仕組みを採用しました。これにより、国家の財政にのみ頼ることなく強力な資本力を持ってアジア貿易を独占的に進めることが可能になりました。 |
| 問5 | 答え 2<br>葛飾北斎 | 江戸時代後期の町人文化では、浮世絵の分野において従来の美人画や役者絵に加え、風景画という新しいジャンルが確立されました。葛飾北斎は「富嶽三十六景」に見られるような、波や山を幾何学的に捉える大胆な構図や、鮮やかな色彩を多用しました。この斬新なスタイルは、19世紀後半のヨーロッパでゴッホやモネといった印象派の画家に多大な影響を与えたことで知られています。 |
| 問6 | 答え 4<br>季節風 | 日本を含む東アジアや東南アジアでは、大陸と海洋の温度差によって夏と冬で風向きが逆転する現象が起こります。これを季節風（モンスーン）と呼び、動力を持たない朱印船は、夏に日本から南下し、冬に日本へ帰国するといった航海サイクルをこの風に合わせて組んでいました。貿易風は赤道付近で一定方向に吹く風、偏西風は中緯度地帯を西から東へ吹く風であるため、混同しないよう注意が必要です。 |
| 問7 | 答え 3<br>株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み | 田沼意次は、年貢収入だけに頼る幕府財政の限界を打破するため、商業の発展に注目しました。商人が作る同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、運上・冥加といった税を課すことで、商業資本を幕府の財政に取り込もうとしました。選択肢にある農村への帰還や借金の帳消しは、後の松平定信や水野忠邦による改革で行われたものです。 |
| 問8 | 答え 1<br>近松門左衛門 | 江戸時代中期の元禄文化を代表する脚本家です。竹本義太夫と協力して人形浄瑠璃の脚本を多く手がけたほか、歌舞伎の台本も執筆しました。当時の町人の暮らしや恋愛、心中などを題材にした作品は、当時の人々の強い共感を得ました。選択肢にある雪舟は室町時代の水墨画、世阿弥は室町時代の能、葛飾北斎は江戸時代後期の化政文化を代表する浮世絵師です。 |
| 問9 | 答え 4<br>労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。 | 問屋制家内工業が個々の家々で作業を行うのに対し、工場制手工業は労働者を工場（作業場）に組織的に配置しました。これにより、一人ひとりが特定の作業に専念する「分業」が可能となり、手作業でありながら大量かつ迅速な生産が実現しました。 |
| 問10 | 答え 4<br>大名の軍事的な強化や、有力大名同士の無断の同盟を妨げ、反乱を未然に防ぐため | 武家諸法度の根底には、幕府による強力な大名統制の意図があります。城の無断修理や新築の禁止は大名の軍事拠点強化を阻止するためであり、婚姻の許可制は大名同士が勝手に政略結婚をして幕府に対抗する派閥を作ることを防ぐためでした。このように、私的な活動を法的に制限することで、長期にわたる安定した支配を実現しようとしました。 |
| 問11 | 答え 1<br>市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。 | 貨幣の質を落として流通量を急激に増やすと、貨幣そのものの価値が低下します。これにより、同じ商品を購入するのにより多くの貨幣が必要になるため、物価が上昇する現象が起きました。これは現代で言うインフレーションに近い状態で、庶民の生活を圧迫する要因となりました。 |
| 問12 | 答え 1<br>オランダ | 江戸幕府はキリスト教の布教を警戒し、カトリック諸国であるスペインやポルトガルを排除しました。これに対し、プロテスタントの国であったオランダは、布教よりも貿易を優先する姿勢を示したため、1641年に平戸から長崎の出島へと商館を移したあとも、ヨーロッパで唯一の交易相手として認められました。 |
| 問13 | 答え 2<br>銅や「俵物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、外貨を獲得しようとした。 | 田沼意次は、貿易を制限するのではなく、むしろ積極的に活用することで財政を立て直そうとしました。当時、輸入の対価として金銀が流出していたため、日本産の銅や、俵物（煎海鼠、干鮑、鱶鰭などの海産物）の輸出を強化することで、金銀の流入を促しました。また、蝦夷地の開発を計画してロシアとの貿易を検討するなど、先進的な対外政策を構想していたことも特徴です。 |